



正法眼蔵仏性第三／紙本墨書／縦 22.8×横 15.8 cm／鎌倉時代 仁治 2 (1241) 年

本書は、仁治 2 年(1241)10 月 14 日に深草(京都市伏見区)の興聖寺において示衆されたものを、同 4 年正月 19 日に懐奘が書写したものである。その後、道元禅師が推敲を加えた本をもって正嘉 2 年(1258)4 月 25 日に徹通義介 (1219～1309) が補筆したという。本書は『正法眼蔵』編纂過程を示す史料として貴重なものである。